

優しく強い子に！



GAMBAノート

むさしの5年生リーグ。南の5年生9人でしたが、GAMBAノートを持ってきたのはシン君一人でした。

① GAMBAノートは、試合前日に家で自分のめあてをノートに書き、チームのめあても書いてくる。

② 試合前のミーティングで試合のめあてを話し合っ決めて。

めあてをノートに書いて、試合後にめあてを達成できたかどうか考えて書き込む。

③ それが次の試合のめあて作りの基になり、指摘された課題は次の練習のメニューに反映される。

<http://www.minamih.net/>
19・7・20(土)
南NEWS no 41

※この春卒業したハヤト君のように練習のこと・試合のこと、できたこと・課題をしっかりとノートに書く選手になってほしいです。そのノートは何よりの宝物になるはず。みんなの成長に繋がるのです。

自分で考えたこと、仲間で考えたことを書いて記録しておくことは判断力・思考力を豊かにします。

2年生以上は、GAMBAノートに書き込む時間を試合前、試合後に確保してあげてください。

以上、よろしくお願ひいたします。 b y 南の安版万



【6年生試合レポート】

東京都U-12サッカー12ブロックリーグ(後期)

日時 2019/7/15(祝月) 会場 文化大G

《試合のめあて》

パススピードを速くする、積極的に動く、色んな技を使う

《試合の結果》

- 南八王子2-1 東八王子 前半1-0
得点=セイジュン君、トウイ君 (アシスト=ユウカさん)
- 南八王子6-0 RUIDE 前半1-0
得点=レオン君2、セイジュン君、シュンセイ君、ユウカさん、ミツキくん
アシスト=ワヘイ君2、レオン君
- TM 南八王子2-0 東八王子 (20分1本)
得点=セイジュン君、トウイ君
アシスト=ミツキくん、セイジュンくん

《当日の様子》

6月末までのU12の前期リーグでは、上位グループに入れなかった悔しさバネに、絶対全勝で秋のトーナメント出場を勝ち取ろう！と奮起した後期リーグの開幕です。勝手知ったるホームグラウンドの文化大Gで迎えられ、幸先よく発進したいところです。

第一試合、前半4分に左サイドからの切り崩しでセイジュン君が先制点を決めます。しかしその後は個の技術では南ペースの中で、なかなか追加点が奪えません。6年生になって強く意識しているポジション、スペースの有効活用があまり機能せず、圧倒的にボールを支配しながらも、ドリブルしては相手に当ててしまう、悪い展開が続きます。

後半に入ると、13分に自陣クリアミスから失点、悪天候でぬかるんだコンディションで痛恨の引き分けかと思いきや、後半16分に、ユウカさんの左コーナーキックをダイレクトでトウイ君が右インサイドボレーで合わせ、得点できました。見事なゴールでした。このままタイムアップ。薄氷の勝利を飾りま

した。雨脚も弱まった第二試合では、南の得点パターンを読まれていたのか、中央に厚い守備を引かれてなかなか得点が奪えません。前半終了間際にレオン君が相手ゴールキックのカットから素早トウキックで蹴ったシュートが相手GKのトンネルを誘い、待望の先制です。

ハーフタイムには、相手の守りを崩すために、両サイドやスペースの切り替えを頻繁にしよう、そうアドバイスしました。

後半は雨降って地が固まったのか、または文化大G特有の傾斜のある陣地交代の恩恵か？、ゴールラッシュを見せます。

後半2分にワヘイくんからの得意のダブルダッチ抜きアシストをセイジュン君が押し込み2点目、8分にはレオン君の左足ミドルシュート、9分はレオン君のクロスからシュンセイ君が合わせて追加点、14分はユウカさんが相手ボールをカットし、すかさず右足ミドルで5点目、終了間際にはミツキくんGKを椅子の形で抜いてシュートを決めました。



東八王子さんに組んで頂いたTMでは、普段はDFユウラさん、シズクさんをMFに据え、何度もスルーパスに挑む渡り廊下からの鋭い突破を見せてくれました。カンナさん、ソラさんも、体を張ってよくボールに絡むことができました。

《コーチ所見》

何とか2試合を勝利できました。しかしスペースの使い方、スプリントの出どころ(守りから攻めに転じた瞬間の切り替え)、コーチングの浸透には、まだまだ完成度が足りません。合宿や遠征で徹底的に鍛え、残りの試合も全勝し、強豪との対戦に備えたいところです。

いよいよチーム力の仕上げの時期に入りました。悔いなく良い結果を残せるよう、モチベーションを高めていきましょう！

b y 田邊コーチ

7月17日(水)の4午後練が始まる時、6年生のシュンセイ君が一冊の本を貸してくれました。「永遠の気高き魂 ルカ・モドリッチ」という270ページを超える、モドリッチの生立ちからロシアワールドカップでの活躍、MVPを獲得までのドキュメントです。

幼い頃、セルビア軍の爆撃に曝されながらもホテルの駐車場でボールを蹴っていた少年が、地域のサッカークラブから各カテゴリーのクラブへと参加・成長していく様を描いたドキュメントです。

各カテゴリーの指導者達は誰もが最大の賛辞をモドリッチに贈っています。「彼はチームメイトから本当に尊敬されている。それは彼が手にしている成果のためではない。その性格・振る舞いによってである」

b y ニコ・コバチ ナショナルチームコーチ

シュンセイ君、素晴らしい本を読みましたね。モドリッチの少年時代はフィジカルの弱さを意欲とセンスと技でカバーしていました。シュンセイ君と同じですね。

b y 南の安版万

